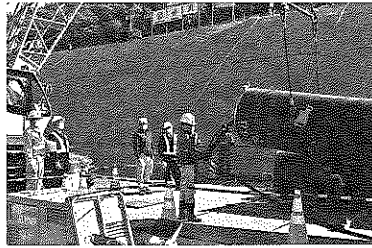




### 局と長野労基署 緊急パトロール

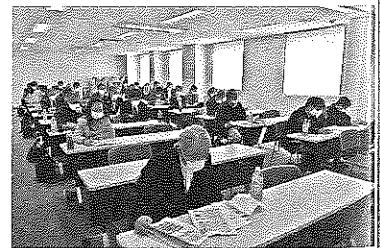
県内で9月末から約半月で6人の労働災害死亡事故が相次いでいることを受け、長野労働局と長野労働基準監督署が11日、高木建設が施工する長野市篠ノ



ルで市の建築担当者らと建築行政懇談会を行った。写真。市から堀内敏明課長ら10人、協会からは建築技術者ら30人が出席。協会側は電子契約の導入を要望。市側は「まだ具体化していないが、DXの流れと業務効率化の



長野支部(高橋賢二支部長)と、同賛助会(小林伸夫会長) 合同による「技術講習会・技術研修会」(CPD認定)が14日に行われた。長野市や県による講習会と、賛助会員2社による商品説明が行われ、約40人が参加した。写



### 県建設部と懇談 空衛協会と 電設業協会

県空調衛生設備業協会(篠田忠尚会長)と県電設業協会(柄澤守孝会長)は15日、長野

者、点検技術員を対象に1978年から毎年開催されている。14日は長野市の若里市民文化ホールで開催。写真。同組合長野支部の大田敬章支部長(日東電気工事社長)は「講習は工事の基本となる電気工事二法に加え、近年多発している労働災害防止に向けた意識改革の必要性や多発する自然災害に対する減災、防災、全日電工連認定の損害保険制度など役立つ内容となっているので有意義に活用してほしい」と述べた。

特別養護老人ホームの築工事Ⅱ完成。図Ⅱの開札を行。野建設が127万円で落札し、棟A棟がS一部8階+PH地下で延べ1万3m、同B棟が同て延べ5281養C棟がS造。+PH延べ59工期は、病院棟

井小松原の地すべり対策工事現場で、安全措置状況を確認する合同パトロールを実施した。写真。パトロール後に長野労基署の久間誠司署長は「問題はなかった」と講評。高低差のある法面での作業時は、崖側に人が近寄る場合、転落防止措置を徹底することなどを呼びかけた。

道之会長「マルゼン建設社長」は10日、長野工業高校で鉄筋の設置方法について学ぶ「配筋設置研修会」を開催した。写真。鉄筋コンクリート造構造物の基本技術を学び、生徒の将来の仕事に生かし、地域で活躍する企業や

土木業界について見識を広めることを目的に土木科2年生37人が参加。同協会の会員技術者11人が講師となり、崖などの工事で地盤が崩れないように設置する擁壁に使う配筋の組み立て作業を行った。竹花会長は「鉄筋は、図面で書けば一本の線だが、作ってみると太さも幅もあり、その違いを実感できる。これを機に鉄筋業界に興味を持つてもらい、一人でも多くの人が就職してくれるとありがたい」と期待を述べた。

### 県電気工業組合が 5会場で保安講習

県電気工業業組合(藤沢一三理事長)は14日、県内5会場で電気工事保安講習会を開催した。講習会は主任電気工事士、現場責任

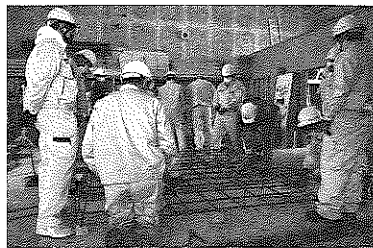
14日は長野市の若里市民文化ホールで開催。写真。同組合長野支部の大田敬章支部長(日東電気工事社長)は「講習は工事の基本となる電気工事二法に加え、近年多発している労働災害防止に向けた意識改革の必要性や多発する自然災害に対する減災、防災、全日電工連認定の損害保険制度など役立つ内容となっているので有意義に活用してほしい」と述べた。

### 千曲川県水組合 防災訓練に参加

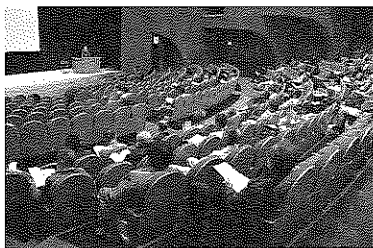
千曲川県営水道工業協同組合(金澤信幸理事長)は、15日に県川中島水道管理事務所が地震などの災害発生時の被害に迅速かつ的確に対応するために

行った総合防災訓練に参加した。写真。災害復旧訓練組合員が、管線配管などで使用している資材を使い、1組になって「蛇口」から仮設を接続した。組を1年に1度、実際に組むことという時に迅速できる。他社の見ることでも多い」と述べた。

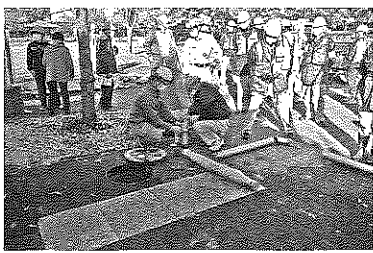
### 長野工業高校で 配筋設置研修会 県鉄筋業協



県鉄筋業協会(竹花



千曲川県営水道工業協同組合(金澤信幸理事長)は、15日に県川中島水道管理事務所が地震などの災害発生時の被害に迅速かつ的確に対応するために



行った総合防災訓練に参加した。写真。災害復旧訓練組合員が、管線配管などで使用している資材を使い、1組になって「蛇口」から仮設を接続した。組を1年に1度、実際に組むことという時に迅速できる。他社の見ることでも多い」と述べた。